

# CSR Report 2020

Corporate  
Social  
Responsibility



# 2020 Corporate Social Responsibility REPORT

## Contents

ステークホルダーの皆さまへ	P.03	お客様とともに〔開発本部〕	P.15
CSRの考え方	P.04	従業員とともに〔人事部〕	P.17
企業理念・企業行動規範	P.05	取引先とともに〔生産本部〕	P.19
会社概要	P.06	株主とともに〔総務部〕	P.21
品質方針	P.07	地球環境のために〔施設環境室〕	P.23
環境方針	P.08	企業ガバナンス	P.25
特集	P.09	社会貢献① ～地域に“寄り添う”企業へ～	P.27
お客様とともに〔品質統括部〕	P.11	社会貢献② ～アートのある社会生活を～	P.29
お客様とともに〔営業本部〕	P.13	安全・安心な職場づくり	P.30



## 編集方針

当社はCSR経営方針に掲げた5つのテーマを重点課題と位置付け、さまざまな活動に取り組んでいます。このCSR報告書をステークホルダーの皆様との重要な企業コミュニケーション活動のツールとして考え、分かりやすくお伝えすることを目指して作成しています。

### ■ 対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日

### ■ 対象範囲

本社・開発本部・名古屋工場／菊川工場／磐田工場／掛川工場  
中津川工場／唐津工場／栃木野木工場／東北日東工業(株)

### ■ 発行時期・部署

2020年9月 広報室



## ステークホルダーの皆さまへ

To Stakeholders



お客様の未来に  
「信頼と安心」を届けられる  
企業グループへ

取締役社長 COO

黒野透

人へ、社会へ。電気と情報を明日へつなげるために、私たちの技術があります。

1948年の設立以来、私たちは電気設備や機器の開発・提案を通じて  
電気や情報のインフラを、毎日の暮らしから産業までのさまざまなシーンで  
サポートしてきました。

これからも日東工業グループの「総合力」の強みを活かし、

社会にとって必要不可欠な存在となれるよう

「電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」を目指して邁進していきます。

# CSRの考え方

## The Concept of CSR

当社は、設立以来「優良な製品を以て社会に貢献し、生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する」を社是として、この思いを大切にし、いつの時代も変わることなくお客様に喜んでいただける製品づくりを心がけてきました。

しかし、急速に変わる時代の流れとともに求められる価値が変わってきています。

わたしたちは、従業員ひとりひとりが同じ価値観を持ち、お客様や社会の皆様の声に耳を澄ませながら、自然や地域社会との共生を目指していきます。

さらに、日々の企業活動の中で、日東工業だからこそできる価値を追求し、**5つのCSR経営方針**を実践することで、「信頼、技術、貢献～電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」として持続可能な社会の実現に貢献していきます。

お客様にご満足いただける  
新たな価値を  
創造し続けます。

人間尊重の精神に  
基づいた企業活動を  
進めます。

株主価値を高める  
経営を常に  
行います。



美しい地球を  
次世代へつなぐことに  
貢献します。

高い倫理観、道徳観に  
根ざしたコンプライアンス  
経営を実践します。

# 企業理念・企業行動規範

Corporate Philosophy / Corporate Code of Conduct

## 社 是

優良な製品を以て社会に貢献し、生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する。

## 長 期 ビ ジ ョ ン

信頼、技術、貢献～  
電気と情報を明日へつなげる価値創造企業

## ス ロ ー ガ ン

# CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

## 経 営 理 念 ( C S R 経 営 方 針 )

- お客様にご満足いただける新たな価値を創造し続けます。
- 人間尊重の精神に基づいた企業活動を進めます。
- 高い倫理観、道徳観に根ざしたコンプライアンス経営を実践します。
- 美しい地球を次世代へつなぐことに貢献します。
- 株主価値を高める経営を常に行います。

## 企業行動規範

項 目	主な内容
社会的規範の遵守	日東工業グループは、法令や社会的規範、社会的良識に基づいた事業活動を行います。
社会的に有用な製品・サービスの提供	日東工業グループは、安全性・環境保全などに十分配慮し、お客様に満足していただける優れた品質の製品・サービスを提供します。
公正な取引と健全な事業活動	日東工業グループは、公正かつ自由な競争の確保が、市場経済の基本ルールとの認識のもとに事業活動を行います。また、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持するとともに、社会的秩序や企業の健全な活動に悪影響を与えるあらゆる個人・団体とは一切係わりません。
企業情報の管理と公正な開示	日東工業グループは、保有する秘密情報や個人情報については、それらが漏洩することのないよう適切な情報管理を行います。会社情報の開示に関しては、必要と認められる情報を、株主・投資家はもとより広く社会に対し積極的に開示します。
知的財産の尊重	日東工業グループは、知的財産の重要性を認識し、その管理に細心の注意を払います。また、第三者の権利を尊重するとともに、自らの権利を守り防衛します。
環境保全への取り組み	日東工業グループは、事業活動を行うにあたり、資源の有効活用・再資源化・省エネルギー・廃棄物の削減・環境汚染の予防に努め、豊かで健康的な社会の環境作りに貢献します。
社会貢献	日東工業グループは、地域・社会との連携と協調を図り、良き企業市民としての役割を積極的に果たします。
安全で働きやすい職場環境の実現	日東工業グループは、社員のゆとりと豊かさを実現し、快適・安全で清潔な職場環境を確保するとともに、社員の人格・個性を尊重し、差別のない自由闊達で創造性の発揮できる企業風土を実現します。
国際ルールへの遵守	日東工業グループは、事業活動にあたり国際ルールを遵守するとともに、諸外国の文化・慣習を尊重します。

# 会社概要

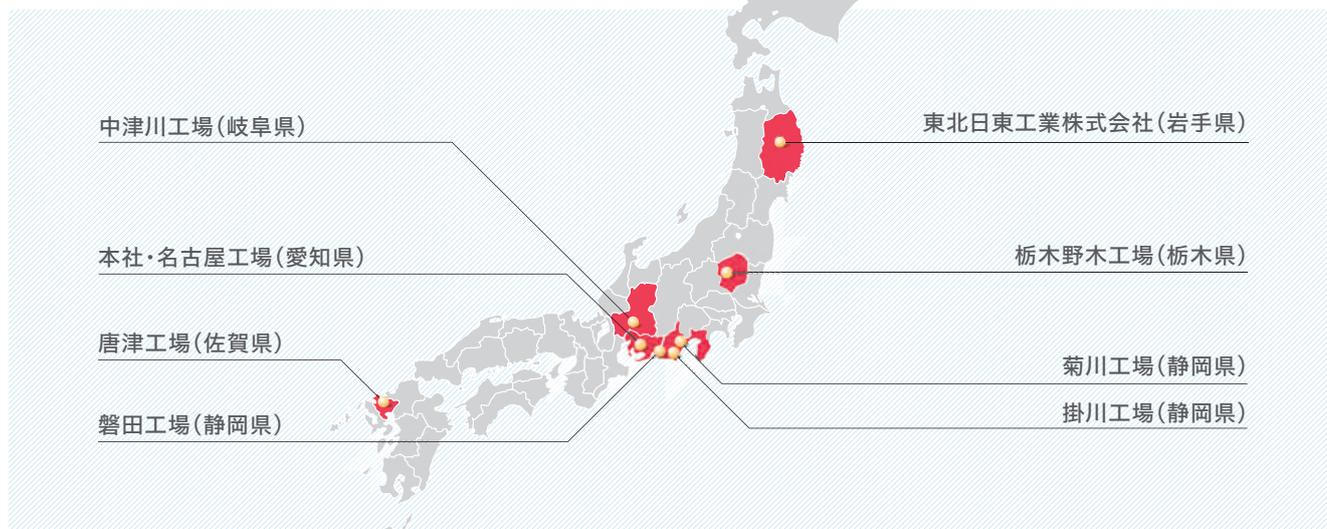
## Company Overview

### 会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	日東工業株式会社
英文社名	NITTO KOGYO CORPORATION
本社	〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
設立年月日	1948年11月24日
資本金	65億78百万円
従業員	連結 3,942名 単体 1,918名

事業内容	電気機械器具製造・販売 および発電・売電事業
工場	名古屋、菊川、磐田、掛川、中津川、唐津、 栃木野木、東北日東工業(花巻)
主要営業所	札幌、仙台、さいたま、東京、横浜、静岡、 名古屋、大阪、京都、広島、高松、福岡など 全国45カ所※ ※ソリューション営業部を除く

### 生産拠点



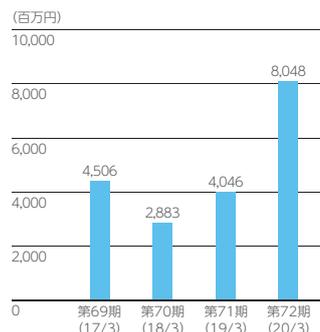
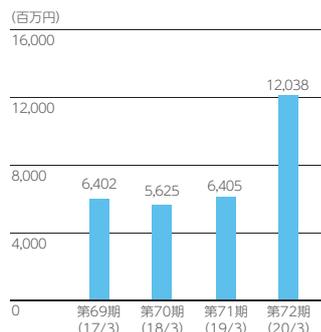
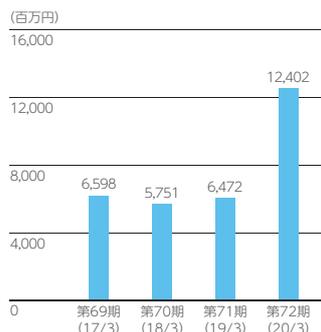
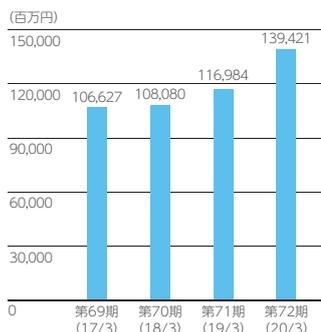
### 財務データ (連結業績)

売上高 **139,421**百万円  
(前期比 19.2%増 ↑)

営業利益 **12,402**百万円  
(前期比 91.6%増 ↑)

経常利益 **12,038**百万円  
(前期比 87.9%増 ↑)

親会社  
株主  
帰属する  
当期純利益 **8,048**百万円  
(前期比 98.9%増 ↑)



# 品質方針

## Quality Policy

お客様に、当社製品を安全・安心にご利用いただけるように、日東工業グループでは「安全・安心な、より高い品質の製品・サービスをお客様に提供する」を品質方針として、お客様第一主義に基づくサービス体制を進めています。

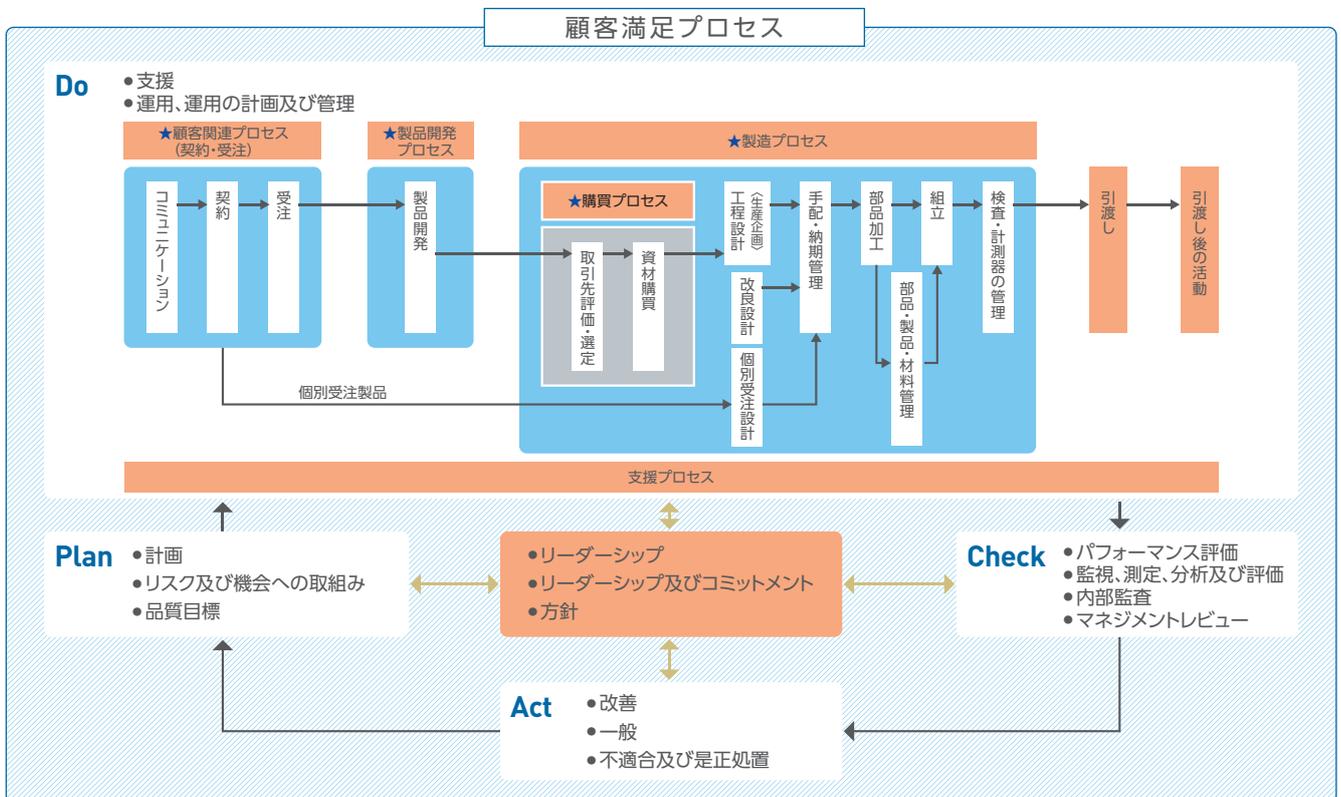


安全・安心なより高い品質の製品・サービスをお客様に提供する

品質改善の推進

## 品質保証体制

お客様満足度向上を図るために、当社では「品質統括部」を設置し、社内規程に「品質・環境マニュアル」を定め、専門委員会(品質委員会)を通して、問題点の改善に向けたPDCAを回しています。



## ISO9001の認証を取得

1997年7月4日に菊川工場で品質マネジメントシステムISO9001の認証を取得し、現在は、全工場(東北日東工業(株)を含む)・全営業所で取得しています。



## 品質教育

品質マネジメントシステムを実施し、お客様満足度を高めていくために、社員一人ひとりの能力向上は必要不可欠です。当社では、個々の能力に応じた教育カリキュラムを作成し、品質能力の向上を進めています。

教育内容	対象者
品質マネジメントシステム(一般教育・基礎)	新入社員・中途入社社員
品質マネジメントシステム(一般教育)	新任課長・所長
QC7つ道具	全社員
QCサークル研修	推進者・リーダー
ISO9001内部監査員資格取得教育	課長職
品質特別教育	関連部門
QC工程表のつくり方	関連部門
品質目標に関する教育	全社員

# 環境方針

## Environmental Policy

当社では、1994年度に環境方針を策定し、以来、長期的な展望に立脚して環境保全活動に努めています。2001年3月にISO14001の認証を受け、社会状況を鑑みながら環境方針も見直し、2015年のISO14001改訂に伴い、2017年度からはリスクも考慮した活動へ発展させてきました。

### 環境方針

#### 環境理念

当社グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業の自己責任として効率的な環境管理システムを構築し、事業活動・製品及びサービスの全ての活動において、「CO<sub>2</sub>排出削減」「廃棄物の発生抑制」「人と自然との共生」を推進し、持続可能な社会の確立へ寄与します。

#### 環境方針

方針「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を次世代につなぐ」

**1** 環境関連の法律・条例・協定等を遵守します。

事業活動、製品及びサービスの環境影響をライフサイクルで捉え、以下の環境目標を定め、環境保全型企業を目指します。

- 2**
- ・製品環境負荷の削減(エコ製品化)
  - ・有害化学物質の使用規制
  - ・地球温暖化の抑制
  - ・ゼロエミッションの定着・維持、排出物削減(発生抑制)

積極的な環境保護活動を推進し、下記のテーマに取り組みます。

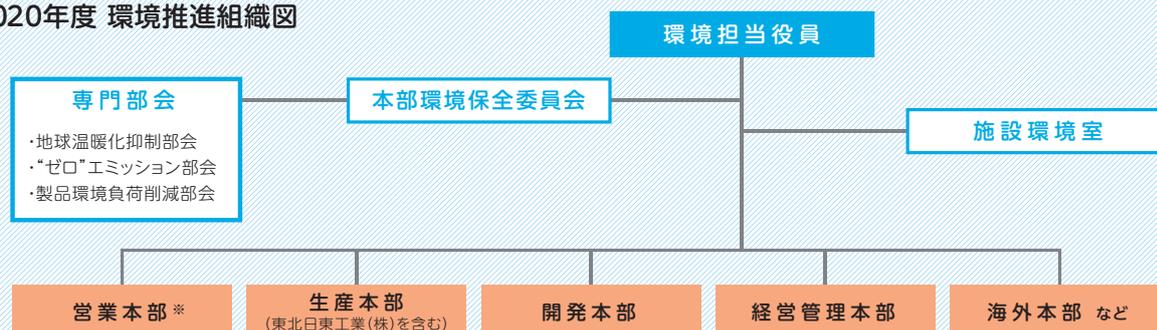
- 3**
- ・お客様へエコ製品の提供
  - ・地域社会の一員として地域保全活動を通じ自然との調和を図ります。
  - ・環境に配慮した資材調達や物流を推進します。
  - ・環境汚染の予防に取り組み、安全・安心を地域社会に提供します。

**4** 環境に関する情報開示に努めます。

**5** この方針を、役職員含むすべての業務従事者に周知し、展開します。

### 環境推進体制

#### ■2020年度 環境推進組織図



※工場敷地内の営業所を対象としています。

# 大切な財産を未来へつなぐ。



## ～電気火災を未然に防ぐために～

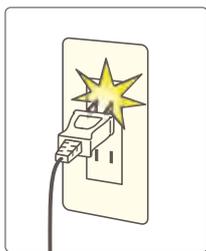
近年、建物の火災件数は減少傾向にあるものの、電気火災の占める割合は増加傾向にあり、その未然防止は重要性を増しています。

この「特集」では電気火災を未然に防止するための取り組みを紹介します。

### 💡 ご存知ですか？

家屋内の火災原因でショート（短絡・地絡）・トラッキング・ケーブルの断線など、火花放電が原因の火災は約40%を占めています。これまでは壁内配線や延長コードで発生した火花放電による電気火災を防止する有効な手段がありませんでした。

— トラッキング —

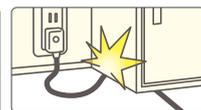


■ホコリが吸湿

— 短絡・断線 —



■ムリな引っ張り



■家具・備品の下敷き



■電化製品のコードのねじれ



■施工時のケーブル損傷



■束ねた電源ケーブル類

### 💡 放電検出ユニット **Spartect** ってなに？

火花放電特有のノイズを検出し、電気火災の未然防止に貢献する製品です。これまではトラッキング検出機能付コンセントはありましたが、保護されるのはコンセント部のみでした。放電検出ユニット（スパークテクト）は1台で家屋全体を監視し、壁の内側や屋根裏などの普段人目に触れない場所のケーブルの火花放電も検出できます。



スパーク(spark)から建物や人命などの財産をプロテクト(protect)するという意味で名付けられました。



### 🏆 高評価をいただきました。

放電検出ユニット（スパークテクト）は社会的な評価や将来性などで評価され、複数の賞を受賞しています。

JECA FAIR  
2019  
製品コンクール  
経済産業大臣賞



ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)  
2020  
最優秀賞





## どんな機能があるの？



火花放電検出時、  
LEDとブザーでお知らせ



主幹ブレーカを自動で遮断  
(選択可能)



通信装置との組合せで  
メールでお知らせ

住宅内の配線を  
まるごと監視



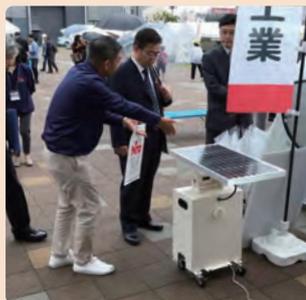
### TOPICS

## 「ぼうさいこくたい2019」へ出展

2019年10月に開催された内閣府主催の「ぼうさいこくたい」に出展しました。このイベントは防災・減災について学べる国内最大級のイベントです。さまざまな年代の方々が訪れ、実際の商品を触って体感することで防災意識の向上と取り組みの重要性を学んでもらいました。



### 出展製品



●独立電源システム(可搬型)



●感震ブレーカー



## お客様目線での 品質保証活動



私たちの想い

試験評価を通じて、  
安全・安心な製品をお届けします。

品質統括部 テクニカルセンター 菊川ラボラトリ 試験技術係

堀川 知宏

菊川ラボラトリでは主にキャビネットやシステムラックの評価試験を行っています。

これらの製品は、内部に収納する電気機器を保護すると同時に、電気機器への接触による感電などの事故から人体を保護する目的で使用されるものですが、実際にお客様が設置する場所や方法、内部にどのような機器を収納するかなど、細かい使用条件はさまざまです。汎用性のある製品だからこそ、決められた試験をただ行うだけでなく、「製品の要求性能を満足するためにはどのような検証が必要か」、「どのように試験を行うのが適切か」を常に考えながら評価試験に取り組んでいます。



▶ 耐震試験



▶ 風雨試験



▶ 日射試験

## お客様に満足していただける 優れた品質の製品・サービスを提供します。

社員ひとりひとりの行動がお客様のための行動となるよう、安全性を十分に配慮した製品検証、法令や社会規範を遵守する活動をしています。



品質統括部長 齊田 正一

### 2019 年度 実績

- 過去事例を活用した品質意識の向上
- グループ品質保証体制の確立
- 規格や法令に対する理解を深め、コンプライアンスの強化

### 2020 年度 目標

- 行為保証の活用および効果確認の強化
- 過去事例を活用した個人および組織の品質意識の底上げ
- グループ会社の品質課題を共有した品質改善の推進

## ヒューマンエラー予防

お客様からの不満足のご意見を分析すると、ヒューマンエラーが大きな割合を占めています。ヒューマンエラー撲滅を目指し、新たな手法「行為保証」に取り組んでいます。



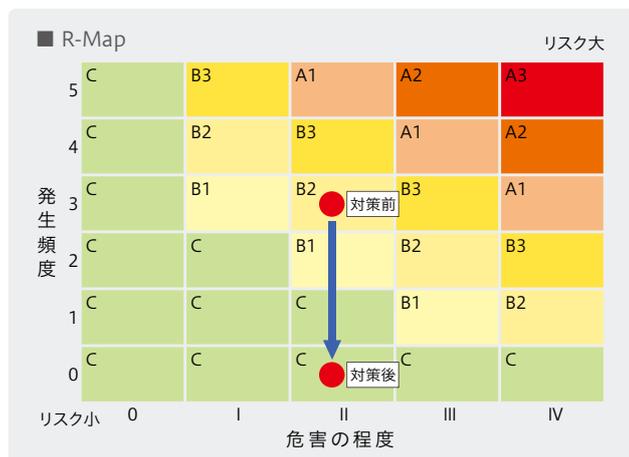
行為保証とは目的を持った動作の保証をするという考えで、作業に拘りを持って、生産を行っています。

- できばえ管理からプロセス管理へ
- 品質ポイントの明確化と技術伝承
- 品質パトロールによる作業動作の確認

## 製品リスク予防活動

お客様に安全・安心な、より高い品質の製品を提供するため、製造物責任法（PL法）などの国内外の法律や社会規格を守り、品質レベルの向上を図っています。

R-Mapによる分析手法を利用して、製品リスクアセスメントを実施し、リスクを下げる活動を行っています。

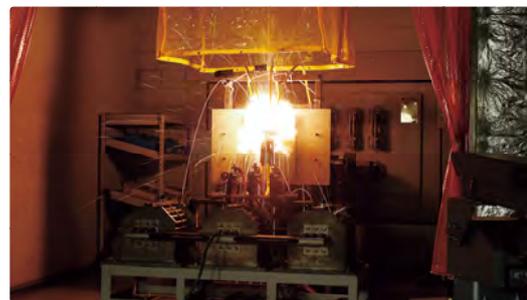


## 充実した試験設備

菊川ラボラトリの最新試験設備や短絡試験などのさまざまな試験設備を使用し、製品の安全性や品質確認を実施しています。新製品開発時だけでなく、既存製品についても定期的に試験を実施し、信頼性の確認を行っています。



▶ 短絡発電機



▶ 短絡試験

## アフターフォロー

お客様に満足いただける製品を使い続けていただくため、お客様からの不満足のご意見を集約し、場合によっては積極的な現地調査を実施させていただくことにより、製品の改善や次期製品の開発に役立てています。

また、お客様の大切な設備・装置・機器が安定して稼働を続けられるように修理・改造・技術サービスを提供しています。



## お客様に、 より大きな感動を提供



### 私たちの想い

営業部門全体で  
より高次元なサービス向上を  
目指します。

営業企画部 促進課  
香川 なるみ

名古屋営業所  
安藤 暢亮

私たちは、営業とスタッフ部門が一丸となりお客様の潜在的なニーズや課題を探り、最適な商品をご提案しています。

全国に営業所を構え、それぞれの地域に特化したお客様ニーズにお応えできるよう、営業現場の声を活かした販促ツールの作成を行っています。

これからも営業とスタッフ部門が連携し、お客様ニーズに合わせたご提案をしていきます。



## 幅広いお客様により大きな満足を提供し、 企業価値を高めることを目指します。

CSR経営方針の「お客様にご満足いただける新たな価値を創造し続けます」を実現するために、幅広いお客様により大きな満足を提供し、企業価値を高めることを目指します。



営業本部長 里 康一郎

### 2019 年度 実績

- グループ会社連携ツールによる顧客の利便性向上
- 内覧会の開催による幅広い顧客の創造

### 2020 年度 目標

- Webツールによる顧客満足の上昇
- マーケティング機能強化による顧客創造

## グループ会社連携ツールによる 顧客の利便性向上

グループ会社「(株)ECADソリューションズ」と連携し、それぞれの強みとノウハウを活かすことで、Webツールによる顧客の利便性向上をご提案しています。

従来、ECAD(作図設計システム)で設計を行い、さらに当社Webツールを使用し、穴加工の図面を作成するため2度作図する手間が発生していました。そこで、ECADと当社システムを連携することにより、2度作図していた手間を解消しました。

昨今、推進される働き方改革へ向け、盤設計・製造の生産性向上に貢献するWebツールです。

## 内覧会の開催

お客様・お取引様をご招待し、福岡・大阪で内覧会を開催しました。

防災・減災をはじめ、IoTや製品性能評価ブースなど8つのブースを設け、実際のご利用シーンに沿った製品の展示をしました。日東工業の製品だけではなく、各グループ会社とのコラボレーションゾーンも設置し、電力インフラのさまざまなニーズに対し、グループ全体で幅広いサポートを提案しました。

### 開催テーマ

変化していく暮らしと設備に心地よさを。



▶ 展示ブースの様子



▶ セミナーの様子



## お客様の大切な財産を守る 新たな製品を創造



私たちの想い

高周波技術を使用した製品で電気火災の未然防止に貢献し、お客様に安心を届けます。

電子機器開発部 開発グループ

伊藤 宏泰

家屋内の配線で発生するケーブルの断線・ショートや、コンセント部で発生するトラッキング現象※などにより火花放電が発生し、放置すると電気火災につながります。放電検出ユニット「スパークテクト」は、これらの要因で発生する火花放電のノイズを検出し、電気火災の未然防止に有効です。

※トラッキング現象：コンセントにホコリが溜まり、そのホコリが空気中の湿気を吸収することで、プラグとコンセントの間で火花放電を繰り返し、発火する現象。



JECA FAIR  
2019  
製品コンクール  
経済産業大臣賞



ジャパン・  
レジリエンス・  
アワード(強化大賞)  
2020  
最優秀賞



## 潜在的な課題やニーズを発掘し、 社会に必要とされる製品開発

わたしたち開発部門は、「お客様へ提供できるモノは何なのか?」「本当にお客様が求めているコトは何なのか?」、原点を見つめなおし、顕在化されているものだけではなく、潜在的な課題やニーズを発掘していきます。「日東工業の商品を使って良かった」とお客様にご満足いただけるよう、社会の持続的発展に貢献できる製品開発にチャレンジします。



開発本部長 箕浦 浩

### 2019 年度 実績

- スタートアップ企業との協業
- 自由でクリエイティブな活動ができる環境を構築
- グリーンフィット5件、グリーンサポート3件

### 2020 年度 目標

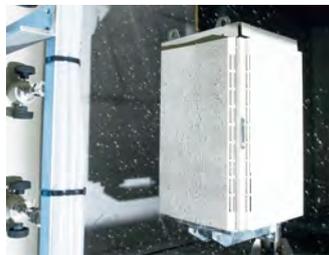
- 意識改革(自由でクリエイティブな開発環境)
- 開発戦力としての人材育成
- 環境に配慮した製品開発体制の継続

## 〈業界初〉屋外キャビネットの 風雨性能評価基準を制定

近年、集中豪雨や大型台風による自然災害が多発しています。屋外に設置されるキャビネットは風と雨を同時に強く受けるため、過酷な自然環境にも耐える性能を要求されることが増えてきています。そこで、一般財団法人建材試験センターと国立研究開発法人防災科学技術研究所のご協力をいただき、JSTM W 6401「キャビネット及び宅配ボックスの水漏れ試験方法(送風散水試験法)」に基づく屋外キャビネットの風雨性能評価基準(WPコード※)を制定しました。

対応製品にはWPコードを表示することで、さらに電気と情報通信のインフラをサポートしていきます。

※Weather Protection



▶ 風雨性能評価試験

## 付加価値の高いモノづくりの 実証研究

愛知県豊田市にある『知の拠点あいち 新エネルギー実証研究エリア』にて、独立電源システムを使用した防災システムの検討や設置環境をリアルタイムで把握できる監視カメラ・環境センサーの設置・運用について実証研究を行っています。



▶ 知の拠点あいち 新エネルギー実証研究エリア



## 環境配慮設計

製品開発時に、省エネルギー、小型化、軽量化、リサイクル性や含有化学物質などの環境影響について評価しており、環境負荷を低減する「環境にやさしい製品開発」を進めています。



当社の環境基準を達成した製品を「グリーンフィット」に認定しています。「グリーンフィット」は、製品の小型化、軽量化、省資源、リサイクル可能率の向上、環境汚染物質の撤廃などをテーマとして環境負荷の低減を実現した製品です。



地球環境を配慮した事業を支援する製品を「グリーンサポート」に認定しています。「グリーンサポート」は環境事業をテーマとして環境負荷の低減を支援する製品です。

### 放電検出ユニット

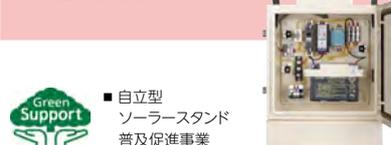


### 屋外天井取付型ファン



### 独立電源盤

(可搬型鉛蓄電池搭載タイプ)



- 自立型  
ソーラースタンド  
普及促進事業

お客様とともに「開発本部」



## 個性尊重の精神に基づいた 企業活動



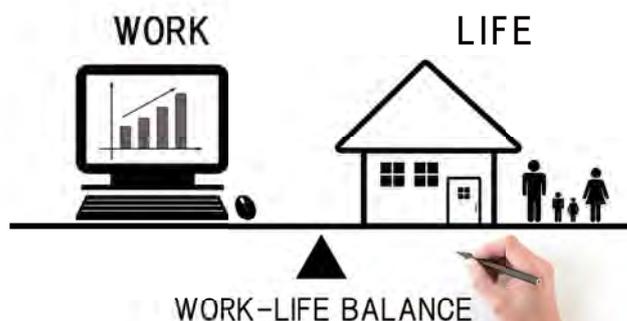
私たちの想い

従業員が安全・安心に働くための施策や環境づくり、働き方改革を推進していきます。

人事部 人事課

大畑 直之

人事課の仕事は勤怠管理・給与計算・健康管理・労使関係など、「ヒト」に関わる仕事です。最近では聞き慣れるようになった「ワークライフバランス」や「働き方改革」も「ヒト」にかかわる大きなテーマであり、社員一人ひとりの活躍には欠かせないと考えています。当社では従来から活用されているフリーバカンス休暇制度やリフレッシュ休暇制度などに加え、「子育て支援策」、「育児休業復職者の継続勤務支援策」などの育児・介護の両立支援制度の拡充や、長時間労働の削減に向けて「管理職への周知徹底」、「パソコンの状況管理」などを継続的に取り組んでいます。今後も「まずやろう!」の行動宣言のとおり、新しいことにチャレンジできる企業であり続けられるよう、「働きがい」と「働きやすさ」の両立を目指した制度計画、そして従業員が安全・安心に働くための施策や環境づくり、働き方改革を推進していきます。



## 一人ひとりの個性を尊重し、 能力を活かす職場環境づくりを目指します。

人材こそ企業活動の源です。仕事を通じて個々の専門性や人間形成に磨きをかけ、社内はもとより社外またはグローバルに活躍できる人材を育成していきます。一人ひとりのワークライフバランスを大切に、いきいきと働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。



人事部長 佐藤 嘉高

### 2019 年度 実績

- パソコン稼動状況管理体制の整備（長時間労働の防止）
- 育児休業者の復職率100%達成
- 働き甲斐改革プロジェクト発足

### 2020 年度 目標

- 時間外労働の低減
- リフレッシュ休暇の取得率100%達成
- 多様な働き方に向けた、勤務制度の整備・拡充

## 人材育成

「企業は人なり」との理念のもと、「正直な心と誠実な姿勢を貫く」さらに「価値創造の追及に努める」を行動指針として、人材開発に取り組んでいます。これらを具現化するために明確な教育体制を組み、階層別教育をはじめ各種専門教育による技能教育を推進しています。また、一般教養を高めるべく、自己啓発の支援制度の充実にも力を注いでいます。

階層別教育	新人	監督指導	統率管理	入社してから、個々の能力に応じ階層別の教育を行います。
階層別教育	■ 入社時研修 ■ フォローアップ面談	■ 監督者新任研修 ■ 監督者強化研修	■ 管理者新任研修 ■ 管理者強化研修 ■ 上級管理者研修	
専門教育	■ 技術・開発 ■ 生産 ■ 営業 ■ 品質管理 ■ 総務 ■ 経理 ■ 人事・労務 ■ その他			配属された職種別に必要とされる知識・技能を身に付けます。
共通教育	■ キャリア開発研修 ■ 安全・衛生 ■ 公的資格取得 ■ 社外セミナー派遣 ■ 企業倫理 ■ その他			社内外にて共通に求められる知識を身に付けます。
自己啓発	■ 語学留学 ■ マネジメント・スクール ■ 通信教育 ■ その他			自己のスキルアップを目指す社員を支援します。

## 働き方改革

身体、精神的な負担を減らし安心して働くことができる環境をつくるために、長時間労働の削減に積極的に取り組んでいます。また、フリーバカンス休暇制度をはじめとした年次有給休暇の取得促進や、勤続年数により利用できるリフレッシュ休暇制度などを充実させ、その制度利用を促進しています。

### ● 時間外労働の上限時間および 産業医面談の実施基準の推移

(単位：時間)

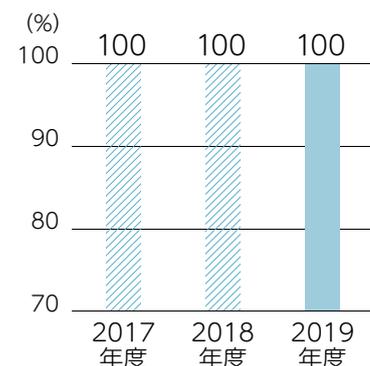
	2018年度	2019年度	2020年度	
36協定 特別条項 締結内容	年間上限時間	650	650	650
	月間上限時間 (努力目標)	80 (60)	80 (60)	80 (60)
産業医面談 当社実施基準	月間時間	60	60	60
	直近2ヵ月 合計時間	110	110	110

## ワークライフバランス

従業員の価値観やライフスタイルが多様化する中、仕事と家庭の調和（ワークライフバランス）を図るため、各種社内制度の整備を進めています。2016年7月には育児短時間勤務制度を拡充（利用対象を3歳児までから小学3年生（9歳）までに延長）など、新たな対策も導入され、対象者の多くが利用しています。なお、近年の育児休業制度の取得率・復職率は100%であり、子育て世代の従業員が安心して働ける環境を整えており、2016年には近年の子育て支援に関する活動が認められ、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣による「くるみん認定」を受けています。



### ● 育児休業復職率





## 高い倫理観、道徳観に根ざした コンプライアンス経営を実践



### 私たちの想い

コア技術の  
さらなる発展に  
向けて



生産技術部 設計課 金型設計係

黒崎 祐介 | 永田 尚久

私たちの所属するプラスチック金型設計部門は当社のコア技術を担うセクションで、製品開発のコンカレント・エンジニアリングの実現から開発期間の短縮や技術者能力から製造QCDの要となる重要なミッションを担っています。

私たちが設計したプラスチック金型はこれまで多くの優良な製品を生み出し、住宅用分電盤をはじめさまざまなプラスチック製品をお客様に提供してきました。一方で、アライアンス企業との提携やグループ・シナジーなど経営環境の変化に伴い、コア技術の変革時期を強く意識するようになりました。商品差別化の核となる競争優位性を有するコア技術から、イノベーションを起こすことを求められています。

近年では3D-CAM加工システムや金属3D造形技術の採用など新技術の調査や研究を進め、次々と導入を開始しています。刻々と進化する技術にアンテナの感度を上げ、先人から受け継いだ素晴らしい技術をさらに進化させるため、これからも生産技術力強化の原動力となり、コア技術のさらなる発展に向け活動していきます。

## 「顧客価値創出に向けたQCD」 お客様の満足を得るものづくり

最適な品質、コスト、納期を実現するために「長年培った生産ノウハウと生産技術力の融合」ならびに「品質と生産性の両立」にこだわり続けていきます。そして地球環境に配慮したものづくりを進めて、お客様の新たな価値創出に向け挑戦し続けていきます。また、お客様によりレベルの高い製品を提供するには、当社のみならず、お取引先様のご協力は不可欠です。良きパートナーとして相互発展を図り、顧客満足創出のため、お取引先様と一体となったコンプライアンス活動を推進しています。



生産本部長 飯田 英人

2019  
年度  
実績

- 海外を含めたグループ全体での生産（購買含む）体制を構築
- お客様に喜んでいただける品質・コスト・スピードの実現
- 生産技術力の強化
- 生産性の見える化と向上
- 需要・戦略に合わせたフレキシブルな生産体制の構築

2020  
年度  
目標

- 海外を含めたグループ全体での生産（購買含む）体制を構築
- お客様に喜んでいただける品質・コスト・スピードの実現
- 現場力の強化
- 人材育成
- 需要・戦略に合わせたフレキシブルな生産体制の構築

### 公正・公平・透明な取引

- 購買部門では「法令遵守・企業倫理」を重視し、当社独自で作成した「購買部門行動計画」に基づき、調達活動に取り組んでいます。
- お取引先様の「品質・価格・納期・技術力」および、「環境への配慮・保全」などを総合的に判断して、「公正・公平な評価・選定」を行い、透明性のある取引を行っています。
- 購買担当者は、必要な知識や関連法規の習得に努めていますが、特に下請法教育については、中小企業庁委託「下請取引改善講習会」の受講を義務付けるなど、さらなるコンプライアンス向上を目指しています。

### お取引先様との信頼関係

正しいコンプライアンスの実施には、お取引先様とのコミュニケーションは不可欠だと考えます。そのため購買部門は、Face To Faceでの意思疎通を図るため、「賀詞交換会」や「取引先監査」を定期的に行っています。これらの機会は、コンプライアンス活動を維持確認するのみでなく、お取引先様との信頼関係構築に繋がっています。



### 技術・技能伝承の取り組み

長年培った「コア技術・技能」を伝承していくため、「ラーニングセンター」の機能的な運営に努めています。競争力の源泉でもある「現場力・技術力」を高め、お客様からの信頼ならびに満足をいただけるよう、努めています。

#### ラーニングセンターの役割

- 1 会社全体の技術レベルのベースアップ維持
- 2 技能・ノウハウの伝承と次世代の人材育成
- 3 社員間交流による知識の創出



▶ 安全体感装置による【安全教育】



▶ 5S・整理整頓トレーニング



▶ モノづくりトレーニング

### グリーン調達・環境への配慮

「低環境負荷への取り組み・地球環境に配慮した製品化・含まれる有害化学物質への関心」は年々高まる傾向にあります。

当社では、環境取り組みへの基本的な考え方と、お取引先様へのご協力をお願いする「グリーン調達ガイドライン」を定めて、さらなる顧客満足向上を目指しています。

また、RoHS（特定有害物質使用制限）指令はもちろんのこと、「GPSSI（グリーン調達調査共通化協議会）」に準拠した部材への切替を推進するとともに、廃棄物減量化の推進や、輸送による環境負荷削減（アイドリングストップ・輸送の合理化）など、お取引先様と一体となって環境活動に取り組んでいます。





## 株主価値を高める 経営を実践



私たちの想い

適時適切な情報開示で  
株主・投資家の皆様との  
信頼関係を構築する。

総務部 総務課  
沖 誠人

総務部 総務課  
金森 一樹



企業の情報開示は、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションにおいて重要な役割を果たしています。昨今では、コーポレートガバナンス・コードの充実化などに伴い、より透明性の高い情報開示が求められるようになりました。当社は、株主・投資家の皆様と強固な信頼関係を構築するために、求められる情報を適時適切に発信できるよう努めています。今後も情報開示を通じて株主・投資家の皆様に誠実に向き合い、より多くの方々から信頼いただける企業を目指して邁進していきます。



## 株主・投資家との対話を大切に

当社の強みや将来性を一人でも多くの方々にご理解いただけるよう、財務・非財務の情報を分かりやすく開示することを常に心掛けています。

株主総会をはじめ、会社説明会や決算説明会にて株主・投資家の皆様と直接対話する機会を大切にし、いただいたご意見を真摯に受け止め経営に反映させることで、当社の持続的成長に繋げていきます。



総務部長 真野 貴明

### 2019年度実績

- 2020年3月期 配当金60円(中間25円・期末35円) 配当性向30.2%(10期連続配当性向30%以上)
- 名証IRエキスポ2019出展
- 日経IR・個人投資家フェア2019出展
- 機関投資家 One on One ミーティング実施(各四半期)
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会(第2四半期・通期)
- 個人投資家向け会社説明会の実施
- Web配信の株式情報番組に出演

### 2020年度目標

- 2021年3月期 配当金40円(中間20円・期末20円)
- 配当性向34.4%
- 機関投資家 One on One ミーティング実施(各四半期)
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催(第2四半期・通期)
- 個人投資家向け会社説明会の実施

## IR活動の充実化

株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを活発化するためにIR活動に注力しています。2019年度は、より多くの方々に当社の情報を発信するため、Web配信の株式情報番組に出演し、会社説明を実施しました。また、機関投資家・アナリスト向け決算説明会については、直接お越しいただけない方にも詳細をお伝えできるよう、当社HPにて書き起こし記事(日英両文)の公開を始めました。このような新たな試みも交えながらIR活動の充実化を推進していきます。



## 株主還元

株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけています。利益配分につきましては、株主の皆様への安定的な配当を維持することを基本に、連結配当性向30%を目標に連結純資産配当率等を勘案して実施しています。また、必要に応じて自己株式の取得・消却など資本効率向上のための諸施策を実施し、株主の皆様に応えています。

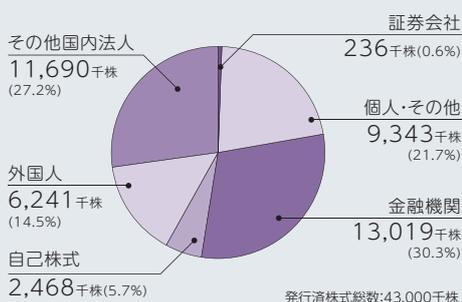
### ● 1株当たり年間配当金／連結配当性向の推移



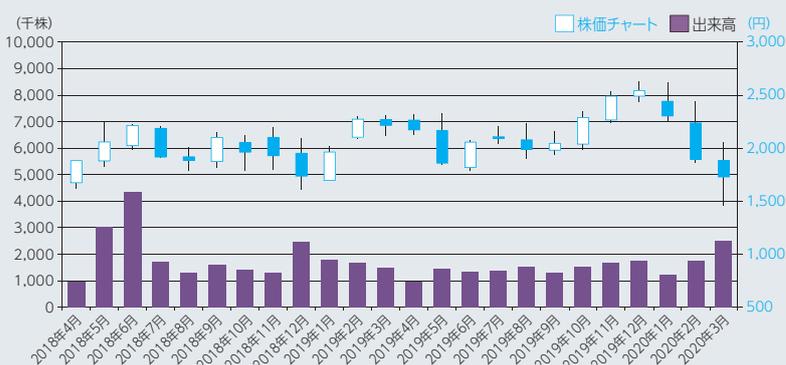
株主とともに「総務部」

## 株式の状況

### ● 所有者別分布の状況(2020年3月31日現在)



### ● 株価チャートと出来高の推移



※四捨五入の関係上、100%とならない場合があります。



## 新しい価値を作り出すことで 社会へ貢献



### 私たちの想い

地球温暖化抑制と従業員に優しい  
作業環境の両立を目指して

磐田工場 総務課 総務係

加藤 優

磐田工場総務課は施設担当部門として、工場内のインフラ設備管理を行い、工場内のCO<sub>2</sub>削減活動にも取り組んでいます。

当社の主力製品のひとつであるプラボックスの多くは、磐田工場で製造されています。それゆえ工場ではプラスチック成形機を多数運用していることから、その排熱によって室内温度が上がり、夏場は従業員にとって厳しい作業環境となります。これを改善するため当社解析グループへ工場内の温度分析を依頼し、分析結果から空調機を効果的な配置に改めることで従来より小型化し、作業環境の向上も果たしました。さらに、空調機の更新による省エネ効果も重なり、CO<sub>2</sub>削減に大きく寄与しています。

作業環境向上と地球温暖化抑制との両立は難しいですが、いかにして両立させるかが施設担当としての役割だと考えています。今後も人にも環境にも優しい職場づくりに努めていきます。

## 美しい地球を 次世代へつなぐためにできること

今、「持続可能な社会(明るい未来)」を目指す上で、

① **低炭素社会** ② **循環型社会** ③ **自然共生社会** を構築することが、重要とされています。

当社では、環境方針「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を次世代へつなぐ」とし、地球環境に配慮した製品づくりを進めることで、持続可能な社会発展に貢献しています。



施設環境室長 熊崎 雅一

### 2019 年度 実績

- CO<sub>2</sub>削減/2016年基準17.7%削減
- 排出量の削減/2016年基準原単位21.7%削減
- エコ製品認定率/71%
- 有害物質の使用規制/7製品がCMS(製品含有化学物質管理)基準に適合

### 2020 年度 目標

- CO<sub>2</sub>削減/2016年基準4%削減
- 排出量の削減/2016年基準原単位2%削減
- エコ製品認定率/70%以上
- 有害物質の使用規制/CMS要領の運用管理

## 自然共生社会を目指して

私たちの事業活動は製品を製造する上で、材料・水といった自然の恩恵を受けて成り立っており、その事業活動によって自然を破壊してしまえば持続可能な社会を構築することはできません。当社では、以下の地域貢献を進めています。

### 「企業の森づくり活動」の取り組み

東北日東工業(株)

2012年に岩手県・花巻市・東北日東工業(株)の3者間で「企業の森づくり活動」の協定を締結して以来、毎年森林保全活動を実施しています。2019年度は、胡四王山の草刈りなどを2回実施しました。2017年度からは、エリアを広げ緑化保全活動も進めており、宮沢賢治が愛した花巻市の美しい自然環境を次世代に残せるよう、今後も活動に取り組んでいきます。



### 「間伐作業」への参加

磐田工場

静岡県では、基本理念である「持続可能な水循環社会の形成」に向け、安定した地下水利用と保全が両立できることを目標として地下水保全対策を実施しています。磐田工場では、地下水を利用している立場として、中遠地域地下水利用対策協議会に加入し、さまざまな環境保全活動に協力しています。2019年度は、磐田市敷地外四ヶ字財産区所有地の、間伐作業に参加しました。



## 低炭素社会を目指して

私たちは地球温暖化の抑制を図り、低炭素社会を目指すために、以下の活動を進めています。

- **クリーンエネルギーの提供**
- **省エネに寄与する設備の導入**
- **業務改善によるエネルギー使用量の削減** など

### クールビズ・ウォームビズの実施

全社

環境省が後援する国民運動「COOL CHOICE」では、主要施策の1つとして、室温の適正化とその温度に適した軽装などの取り組みを促す「クールビズ」を推進しています。当社でも、クールビズ、ウォームビズを推進しており、クールビズ実施期間中にお越しのお客様へは、ノーネクタイ、ノージャケットを推奨しています。



## 循環型社会を目指して

限りある資源を大切にするために、私たちは以下の排出物削減に取り組み、循環型社会の構築に寄与していきます。

- **2003年度に達成したゼロエミッションを維持**
- **分別の徹底による資源の有効活用**
- **廃棄物処理業者を定期的に訪問し情報収集**
- **業務改善による排出物の発生抑制** など

### 産業廃棄物処分場の視察

全社

不法投棄が社会問題化している現在、産業廃棄物処分業および運搬業の取引先と安心した信頼関係を築くことが重要です。当社では社内認定を受けた社員が産業廃棄物処分場を定期的に訪問し、所定のチェックシートに従って処分状況・マニフェスト管理状況・5S管理状況などを確認、評価しています。当社が引き渡した産業廃棄物が適正に処理されていることを確認するとともに、環境負荷低減に努めている取引先との付き合いを深めています。

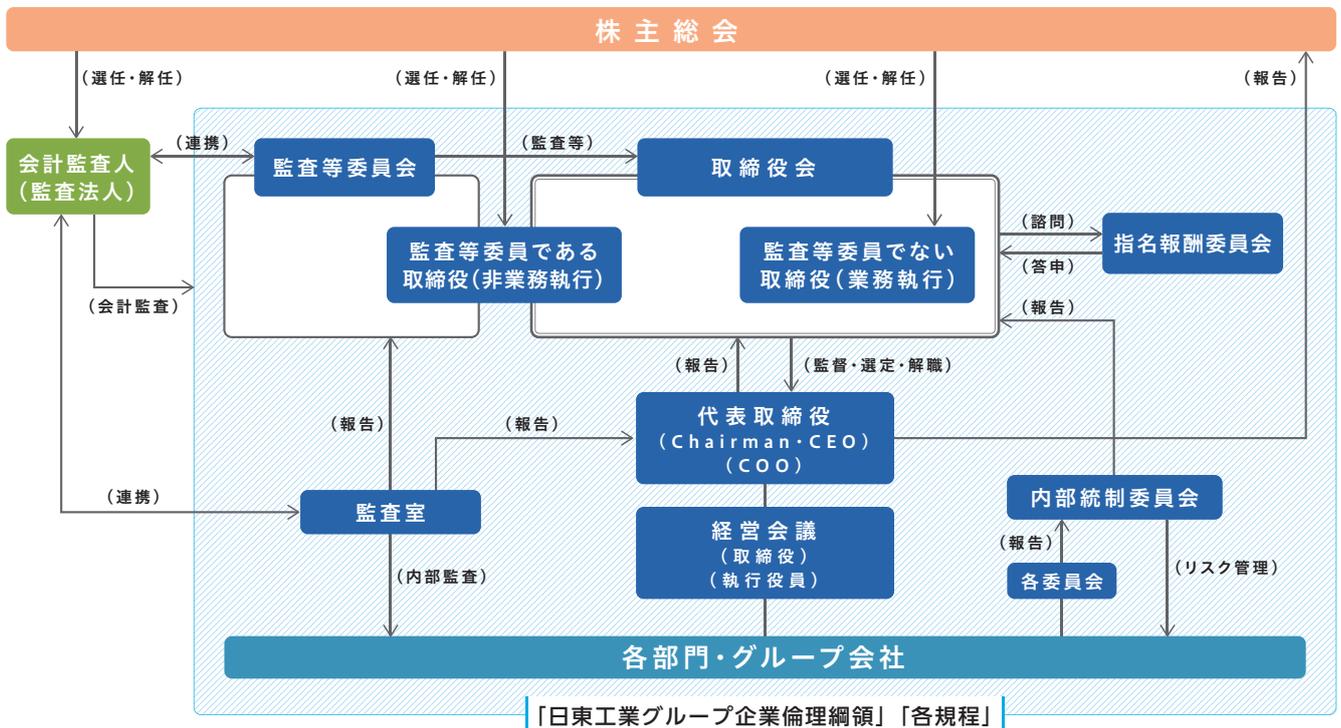


# 企業ガバナンス

Corporate Governance

## コーポレート・ガバナンス体制の概要

当社は、良心に基づいた誠実な行動と公明正大な経営を常に心がけ、ステークホルダーとの信頼関係を強化していくことを大切に、健全かつ透明性が高く、経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制を構築します。また、公正で規律あるコーポレート・ガバナンスを構築し、持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目指します。



当社は、取締役による多面的な検討と的確な意思決定および業務執行を行う一方、適正な監視・監督を図る経営体制と、コーポレート・ガバナンスの充実を図ることができる企業統治体制として最適だと考える監査等委員会設置会社を採用しています。また、その補完機関として、経営会議、指名報酬委員会、内部統制委員会を設置しています。

### 1) 取締役会

取締役会は、取締役会規程に基づき取締役7名(監査等委員である取締役を除く。)および監査等委員である取締役5名(うち社外取締役4名)により構成されています。毎月1回の定期開催のほか、必要に応じて臨時に開催され、法令、定款または取締役会規程に定める重要事項の決定や、重要な職務の執行状況報告およびその監督を行います。社外取締役4名を含む監査等委員5名全員の出席のもと、公正・中立な立場より経営上の重要事項について積極的に助言や意見を求め、監視・監督機能の強化と円滑な運営に努めます。

### 2) 監査等委員会

監査等委員会は、監査等委員会規程に基づき監査等委員である取締役5名(うち社外取締役4名)により構成されています。毎月1回の定期開催のほか、必要に応じて臨時に開催され、職務の状況報告や情報共有を行い、ガバナンス機能の強化に努めています。また、監査等委員による重要な会議への出席や会社の業務および財産の状況に関する調査等を通じて、取締役会決議その他における取締役の意思決定状況および監督業務の履行状況等の監視・監督、検証を行います。監査の実施状況とその結果については定期的に取締役社長(COO)および取締役会に報告され、必要があると認められたときは助言または勧告その他状況に応じた適切な措置を講じます。

### 3) 経営会議

経営会議は、取締役会で選定された取締役社長(COO)の諮問機関として位置づけられ、業務執行取締役(取締役(非常勤)を除く。)、執行役員、常勤監査等委員等で構成されています。経営上の重要事項を審議する場として組織し、原則毎月2回開催され、経営課題や重要事項に対する多面的な協議、検討が行われており、上記の取締役会と併せて機動的、効果的な業務運営を目指しています。

### 4) 指名報酬委員会

指名報酬委員会は、取締役会の諮問機関として位置づけられ、委員は、取締役会の決議により選定された取締役3名以上で構成し、その過半数は独立社外取締役としています。取締役の指名や報酬等に関する経営上の重要事項を審議する場として組織し、原則年4回開催され、取締役会より諮問のあった事項に対し審議・答申を行います。上記の取締役会と併せて、取締役の指名や報酬等に関する手続きの公正性、透明性、客観性を強化することで当社コーポレート・ガバナンスの充実を目指しています。

### 5) 内部統制委員会

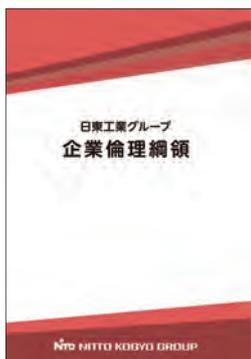
内部統制委員会は、内部統制規程に基づき内部統制全体を統括する組織として位置づけられ、業務執行取締役(取締役(非常勤)を除く。)、一部の執行役員、常勤監査等委員等で構成されています。原則年4回開催され、内部統制システム全般の運用について協議・検討・報告が行われており、内部統制の効率性と有効性の向上を目指しています。

## コンプライアンスは持続的な発展のための大前提

日東工業は設立以来、優良な製品とサービスを創出することで、株主をはじめ販売先や仕入先、地域の皆様との信頼を築いてきました。この信頼は、多くの先輩方による誠実な行動と日々のたゆまぬ努力の積み重ねによって作り上げた宝物です。この宝物は日東工業グループにもしっかりと受け継がれています。これらを一層高め、後世に伝えていくことは、日東工業グループに帰属する私たちの責務です。不祥事を起こせば、これまで築き上げてきた日東工業グループのブランド価値、信用・信頼を一気に損なうことになりかねません。コンプライアンスの徹底は、日東工業グループが持続的に発展していくために欠くことのできない大前提であると考えています。

## コンプライアンスの浸透活動

日東工業グループの全役職員が共通の価値観をもち、コンプライアンスについて理解、実践していけるよう「日東工業グループ企業倫理綱領」を作成し、全役職員に配付しています。また、毎年「企業倫理職場会」を開催し、コンプライアンスについて話し合う場を設けるなど、個人レベルまで浸透させる活動を行っています。



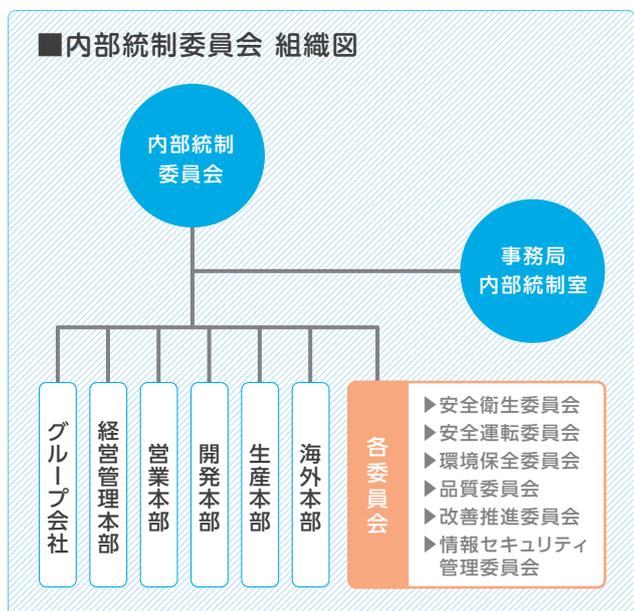
## 通報窓口の設置

企業倫理綱領に反する行為を早期に発見し、解決するために、グループ全体の共通窓口として「ヘルプライン」と海外対応も可能な社外相談窓口「社外ホットライン」を設置しています。相談したことにより不利益を被ることがないこと、また相談内容が外部に漏えいすることがないよう徹底し、公正な調査のもと、問題の改善や再発防止策を策定しています。

## 内部統制システムの構築

取締役会で決議した「内部統制システムの基本方針」に基づき、役職員およびすべての業務従事者により内部統制システムの構築を図っています。

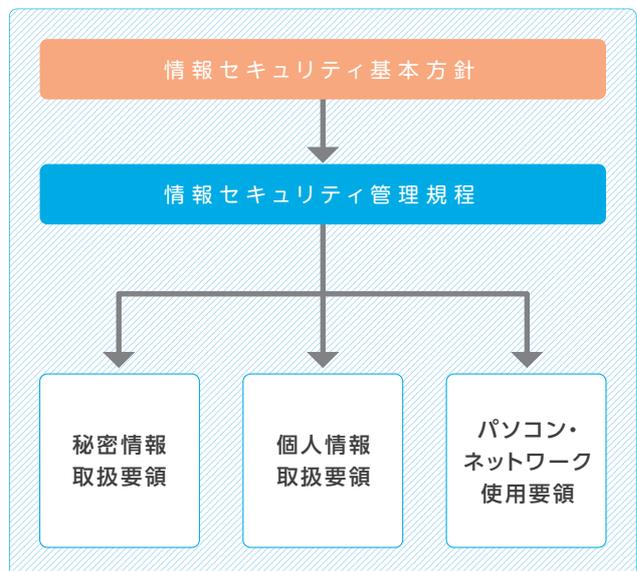
グループ全体の内部統制を統括・推進する組織として「内部統制委員会」を設置し、下部組織として「安全衛生委員会」「安全運転委員会」「環境保全委員会」「品質委員会」「改善推進委員会」「情報セキュリティ管理委員会」などを設置するとともに、各本部を通じてコンプライアンス遵守、業務の適正性・効率性、リスク管理、財務報告の信頼性を確保するための体制を整備・運用し、さらなる内部統制の充実を図っています。



## 情報セキュリティ管理

情報管理においても顧客や取引先の信頼に応えることは、何より大切なことです。

情報には、流出、盗難、紛失などのリスクが常に存在します。そのため当社では、顧客や取引先からお預かりした情報のもとより、社内の機密情報を安全かつ適切に管理・運用するために情報セキュリティ基本方針の策定および情報セキュリティ管理委員会の設置など情報セキュリティ対策を実施しています。また、情報セキュリティ管理レベルの向上を図るため、課長以上にeラーニングによる社内教育を実施するとともに、定期的な情報セキュリティ監査を実施し、職場での意識向上に努めています。



## 社会貢献 ① ～地域に”寄り添う”企業へ～

### Contribution to society 1

日東工業では、地域社会の一員として地域に密着した社会貢献活動を実施しています。未来を担う子どもたちへの教育や、地域の方々が住みやすいまちづくりを実施することで、さまざまなステークホルダーの満足度向上を図り、企業価値を高める活動に取り組んでいます。

#### NITO が取り組む理由

- 子どもたちへの理科教育
- 住みやすい“まち”づくり
- 地域社会とのCONNECT!
- 地域を元気に活性化!

## ながくてサイエンスフェスティバルへ出展

▶ 本社・名古屋工場（愛知県長久手市）

愛知県長久手市で開催される「ながくてサイエンスフェスティバル」に出展しています。子どもたちが理科に関する工作とゲームを体験することで、ものづくりをとおして理科の面白さに触れるプログラムです。2019年度は回路を作って「電流の向き」を学ぶ企画でした。若手社員による選抜されたプロジェクトメンバーにとって通常業務とは異なる経験ができる貴重な機会となっています。

リーダーの  
想い

### 押し出せ！ キャップ落とし大作戦

このプロジェクトは他部署の人たちと関われる貴重な機会でした！また、若手社員のみでプロジェクトを行うことで、スキルアップの面からも非常に勉強になりました。本番では子供たちの笑顔から私たちが元気をもらい、また、子供たちにもこれをきっかけにモノづくりの楽しさや理科について興味を持ってもらえたらなと思いました！楽しかったです！



配電盤開発部  
第二グループ

川井 暉斗

#### プログラム

##### 1: 準備

制作に必要な材料の  
受取・説明



##### 2: 制作

手順書を見ながら  
工作



##### 3: 勉強

原理を学ぼう



##### 4: 体験

ゲームで体感



サポート

本社・名古屋工場 [愛知県長久手市]

## 理科教育支援活動

JEMA (日本電機工業会) が年間2回開催する理科教育支援活動に、従業員2名が協力しています。2019年度は小学校の先生と将来教師を夢見る大学生に対して、身近な電化製品の仕組みをとおしてプログラミングの考え方を学んでもらいました。理科と実社会とのつながりを実験をとおして伝えようと、従業員が熱い想いとともに関心を持ってサポートしています。



参加

菊川工場 [静岡県菊川市]

## 中学生ふるさと未来塾

静岡県菊川市の中学校2か所にプレゼンターとして訪問しました。この企画は地元の中学生に菊川市で働くことの楽しさや将来について考えることを目的としています。従業員2名が菊川工場での仕事内容とやりがいなどを伝え、菊川市で働くことの面白さを伝えています。



協力

掛川工場 [静岡県掛川市]

## 静岡県天竜東地区U10サッカー大会

掛川工場で所有するグラウンドで、10歳以下の子供たちが参加するサッカー大会の開会式が開催されました。関係者など総勢500名以上が集まり、地域の皆様へ還元ができた充実したイベントになりました。



参加

中津川工場 [岐阜県中津川市]

## すご技中津川プロジェクト

地元の企業が工場見学を通して地元の小学生に中津川市で働くことの誇りや魅力を伝えるプロジェクトに協力しました。今回は2か所の小学校が来社し、高圧受電設備について学ぶことで、電気が安定的に使用できる仕組みを勉強してもらいました。



出展

栃木野木工場 [栃木県下都賀郡野木町]

## 野木町産業祭

野木エニスホール(野木町文化会館)で開催される産業祭に出展しています。毎年幅広い年代の方々が来場し、地域の活性化や地元への感謝とふれあいを大切に、毎年活動しています。



参加

東北日東工業 [岩手県花巻市]

## 花巻まつり 一般神輿パレード

花巻工業倶楽部の一員として、一般神輿パレードに従業員が参加しています。毎年10名以上の従業員が神輿を担ぎ、地域の活性化へ貢献しています。



## 社会貢献 ② ～アートのある社会生活を～

### Contribution to society 2

日東工業では、創業者の「働く人の人生の大部分を占める会社を、実りある生活環境にしたい」との思いから、国内全工場・営業所の随所に絵画や彫刻などの芸術作品を配置しています。また、各工場の敷地内には植栽など緑も豊富であり、「公園工場」として社会環境と自然環境の融和に取り組んでいます。ここでは各工場に配置している芸術作品の一部を紹介します。

#### 本社・名古屋工場



海辺の女  
(池田満寿夫作)

#### 栃木野木工場



赤富士  
(鈴木武夫作)

#### 東北日東工業



風に舞う  
(鷺見香治作)

#### 菊川工場



少女  
(鈴木政夫作)

#### 唐津工場



青い基調の鳥と花束  
(ボーズ・アイズピリ作)

#### 中津川工場



虚空  
(小池郁男作)

## TOPICS | 日東工業所蔵品展&ワークショップを開催

「ながくてアートフェスティバル2019」の一環で、日東工業が所蔵する愛知県立芸術大学出身の作家などによるアート作品15点を地域の方々へ初公開しました。また、愛知県立芸術大学大塚名誉教授のギャラリートークを開催。日東工業社内報の表紙に愛知県立芸術大学設楽教授の作品を掲載しており、今までの表紙を一覧にまとめたパネルも展示しました。



### ワーク ショップ

- ①ソーライオンをモチーフにしたトートバックを作ろう!
- ②オリジナル缶バッジ作り!
- ③ペんで描く絵画体験!
- ④パーツで作るへんてこ似顔絵!



# 安全・安心な職場づくり

Create a Safe & Secure Workplace

本社の「安全衛生総括者」が中心となって安全管理体制を整備し、従業員がいきいきと安心して働ける快適な職場づくりを目指しています。

## 安全衛生への取り組み

「安全を築き、健康を保つ」をスローガンに、従業員の安全と健康を守るよう安全衛生活動に取り組んでいます。



### ●業務上災害の度数率



度数率…100万時間当りの死傷者数  
※日東工業グループの数値は派遣社員含む

## 安全衛生への取り組み

危険予知訓練(KYT)、ヒヤリハット報告などの安全活動による従業員の安全意識の向上、リスクアセスメント活動によるリスクの低減、安全衛生・5S巡視、産業医巡視、経営トップ層による巡視などの職場巡視活動、メンタルヘルス教育の実施など、健康で安全に働ける職場づくりに努めています。



▶フォークリフト安全講習会



▶産業医巡視

## 交通安全への取り組み

地域住民の安全と社員の交通マナー向上のため、毎月10日に各工場周辺で交通立番を実施しています。また、車通勤の社員や、車両運転責任者には年1回の安全運転講習の実施、通勤事故防止3か条(1.早めの出勤を心掛ける 2.抜け道・近道をしない 3.退社帰宅時に急がない)の推進、駐車場での事故撲滅運動、全社有車にテレマティクス車載機を装着して車両の速度超過・急発進・急停車などの運行状況を把握するなど、安全運転確保に取り組んでいます。

## 災害対策への取り組み

大規模災害などの緊急事態に備え、事業資産の損害を最小限にとどめ、中核事業を継続するための早期復旧を可能とするため、BCP(事業継続計画)の定期的な訓練や、工場ごとに避難訓練・消火訓練などの防災訓練を実施しています。また、身を守るシェイクアウト訓練や、安否確認を速やかに行うための安否確認訓練なども定期的実施しています。





ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



日東工業は、Fun to Shareに賛同しています。



## **NITO** 日東工業株式会社

2020年9月発行

発行部署／お問合わせ先

### 広報室

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地  
TEL (0561)64-0123 FAX (0561)62-3216

<https://www.nito.co.jp/>

SP-666 020009055SN  
OM10ILCC19